



(1) 国家試験合格者数・合格率

2023年 保育士就職者数 全国第1位
 2023年 幼稚園教諭就職者数 東京第1位
 2023年 保育教諭就職者数 東京第1位
 2023年 管理栄養士国家試験合格者数 (新卒) 東京第1位
 2023年 看護師国家試験合格率 全国第1位
 2023年 保健師国家試験合格率 全国第1位
 2023年 助産師国家試験合格率 全国第1位
 2023年 社会福祉士国家試験合格率 全国私立大第1位 (受験者10人以上)
 ※『大学探しランキングブック2024』(大学通
 信刊) より

(2) ヒューマンライフ支援センター

地域社会と大学を結ぶ窓口で、専門分野の知的資源を地域社会に還元するとともに、学生が実学で学ぶ場として、独自の社会連携を推進している。
 学生が企業と組んだスナブやアスリート食の開発、販売促進ツールのデザイン、地域自治会と協働することも食堂の運営、など多彩な協働を実現。

(3) 140周年記念館

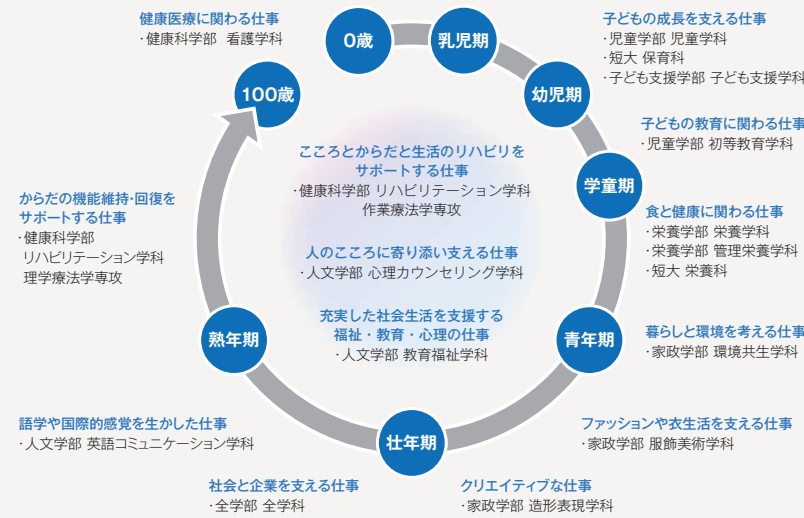
A棟とB棟の2つの建物からなる。A棟の1～4階は、現在別棟にある博物館が約2万点もの収蔵品とともに移転し、博物館関連施設として更なる充実を図る。5～8階は「学生ファースト」のアクティブな学びと交流を促す学習スペースのほか、デジタルクリエイションフロア、DX対応教室が整備される。レーザーカッター、3Dプリンター、動画・音楽を制作し発信できる収録スタジオ・編集設備を完備し学生の自主活動を応援する施設となる。B棟は1階建てで、学生用の開放的なオープンスペースの広場となる。

設立145年を迎える2026年には、140周年記念館が板橋キャンパス内に完成し、140周年記念館も進行中



狭山キャンパス

人の一生を支える学びは、人の一生を支える仕事に。



※学部・学科名称は2024年8月現在

いた科目群を全学で統一。2025年度より新たな全学共通教育プログラムを導入します。
 「本学は専門性を磨き実践力を高める教育を大切にしてきましたが、一方で現代社会を生き抜くために必要な、時代に左右されないものの見方・考え方や汎用的な能力・資質を伸ばすことにも注力する必要があります」と考えます。この全学共通教育プログラムは、皆さんが望むキャリア実現に向け、必ず役立つと信じています」と井上学長は語ります。
 全学共通教育プログラムの共通科目は、6つの領域に分かれています。人間性を磨くための「ヒューマン・ティー」、共生社会のあり方を学ぶ「ダイバーシティ&インクルージョン」、持続可能な社会づくりを学ぶ「サステナビリティ」、外国語や異文化を学ぶ「グローバル・コミュニケーション」、あらゆる分野で不可欠な「データサイエンス×デザイン」、そして心身の健康について学ぶ「ヘルス&ウェルビーイング」の6領域です。各領域の必修科目

目や選択必修科目を学ぶことにより、万遍なく知識・スキルを体系的に修得できるように設計されています。なかでも既に開講済みで、学生にも好評なのが「ヒューマン・ティー」領域の「スタートアップセミナー」(井上学長)です。
 「この科目は私が、学科を越えて東京家政大学の学生としての一体感を生むような自校教育科目として立ち上げたものです。キャンパス別にはありませんが、全ての学科の学生が学部・学科を越えてクラス・グループに分かれ、5人グループで協同学習をする1年次前期必修科目です」(井上学長)
 また、この科目には2年生以上の上級生がSA (Student Assistant) として参加し、相談に乗るなどして1年生をサポートします。
 東京家政大学は、令和5年度文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度(リテラシレベル)」に認定されています。「データサイエンス×デザイン」領域では、「データサイエンス基礎」という科目をすでに選択必修として開講していますが、2025年度からはこれが必修科目となり、学生全員がデータサイエンスの知識とスキルが身につけられるようになります。
 カウンセリング学科では、養護教諭免許の取得だけでなく公認心理師や認定心理士も目指すことが可能です。また、地域社会や企業などと連携した研究、商品開発などに学生が参加できることも東京家政大学の特徴です。ヒューマンライフ支援センターを中心に、レシビや商品の開発、子育て支援や高齢者福祉、デザイン制作など多彩な社会・産学連携を推進しています。
 学生が能力や適性に応じた職業に就けるよう、基礎力養成講座から希望進路別の就職支援講座、国家試験対策講座まで、経験豊富な就職アドバイザーや教員による手厚い就職活動サポートもあります。こうしたキャリア教育と就職活動支援により、大学の就職率は95%と、卒業生数1000人以上の全国女子大学で3位にランクインし、上位を維持しています(大学通信「2024年実就職率ランキング」より)。
 現代社会を生き抜く力を養う新たな全学共通教育プログラム
 東京家政大学では、板橋キャンパスで「共通教育科目」、狭山キャンパスで「基礎教養科目」と呼ばれて



いのうえしゅんや
井上俊哉学長
 1983年3月東京大学教育学部教育心理学専攻卒業。91年3月同大学大学院教育学研究科教育心理学専攻博士課程単位取得後満期退学。91年4月より東京家政大学に勤務。人文学部長、学修・教育開発センター所長、副学長などを歴任。2021年4月より現職。

1881年に創立された和洋裁縫伝習所を礎とする東京家政大学は、140余年にわたり、専門的知識・技能を持ち、これを活かすことによって独り立ちし、社会に貢献する女性の育成に力を注いできました。東京都板橋区と埼玉県狭山市に2つのキャンパスを持ち、2022年は栄養学部、23年は児童学部を開設。時代を先取りした大学改革を推進し、今日では6学部13学科および大学院7専攻、短期大学部2科を擁する女子の総合大学に発展しています。
 卒業生総数は12万人を超え、「家族代々東京家政大学の卒業生」という家庭も少なくありません。実学を重視した地に足をつけた学びと、個々の学生を丁寧に指導する面倒見のよい教育で、高い就職率や国家試験合格者を達成し、自主自律を体現した女性が各界で活躍しています。

東京家政大学

〒173-8602 東京都板橋区加賀1-18-1 アドミッションセンター TEL 03-3961-5228 <https://www.tokyo-kasei.ac.jp>

地域に根ざしグローバルに活躍する2キャンパスを擁する女子総合大学
 日本の女子職業学校の先駆者として知られる校祖・渡邊辰五郎は、裁縫を教授できる習徳の優れた女性教員を育成するため、1881年に東京家政大学の礎となる和洋裁縫伝習所を設立しました。専門的知識・技能を持ち、経済的にも精神的にも自立し、社会に貢献する女性を育てようという建学の精神「自主自律」は今も東京家政大学に息づいています。そして戦後、1949年に東京家政大学として再出発した同大では現在、約6400人の学生が板橋と狭山のキャンパスで学んでいます。
 東京ドーム2個分の敷地に木々が生い茂る板橋キャンパスは、都心や郊外からも通いやすい立地にあります。家政学部、人文学部に加え、学部改組により家政学部から22年に独立した栄養学部、23年に同じく独立した児童学部を含む4学部の学生たちが最先端のカリキュラムのもと有意義な学生生活を送っています。一方、健康科学部と子ども支援学

「人の一生」を支える学を追求し、「地に足をつけた学び」を教育してきた東京家政大学。6学部13学科には、人生のライフステージに何らかの形で関わる学問が網羅されています。家政学部は2026年度から「共創デザイン学部(仮称)」に改組を構想中です。
 「これまでの家政学部をさらに発展させ、『生きる家政』という新しい方向で改組します。学科名は変わらないう予定ですが、4年間で学生が自分の成長を実感できるような学びの道筋をより明らかにした教育コースを目指しています」と井上俊哉学長はその構想を語ります。
 東京家政大学のカリキュラムの優れた専門性は、各種国家試験の合格率・合格率に表れています。井上学長も、「東京家政大学ならしっかりと資格が取れる」との評があります」と語ります。
 自分自身や他者の心を理解するため、さまざまな視点から人の心を見つめ、問題を抱えた人の心理支援に関する演習や実習によって、実践力を身につけることを目指した人文学部心理

「人の一生」を支える学びを通して 高い専門性と豊かな人間性を備えた “自主自律を体現した女性”を育成

部の2学部がある狭山キャンパスも、西武池袋線の最寄り駅から徒歩3分と好立地にあり、多摩丘陵の豊かな自然に囲まれ四季の変化が感じられる学修環境を誇っています。
**時代を先取りした大学改革構想
 キャリアに直結した専門教育**



板橋キャンパス